

◆ 立地適正化計画の概要

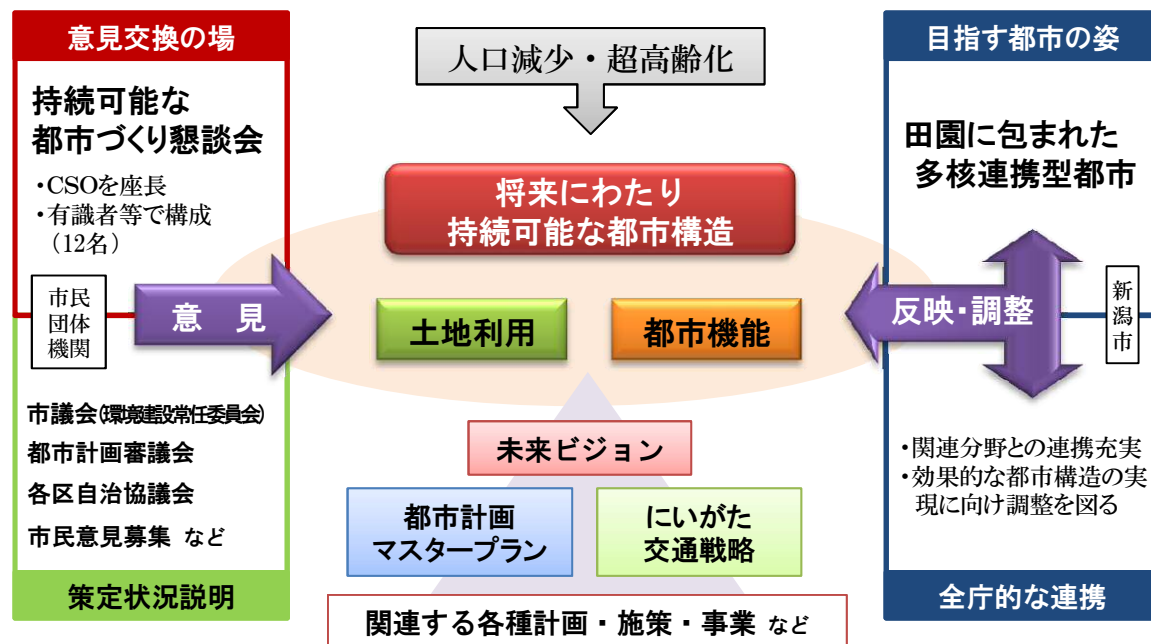
<制度の概要>

- 平成26年8月、都市再生特別措置法が改正され立地適正化計画が制度化
- 都市全体の構造を見直し、コンパクト・プラス・ネットワークの考え方で限られた資源の集中的・効果的な土地利用の転換を推奨

<検討作業の方針>

- 将来にわたり持続可能な都市づくりを実現するため、より具体的な取組方針を検討する
- 平成28年度中の策定に向け、都市マスタープランの一部として拠点性を有するエリアを明示し、人口減少・超高齢化に対応した適正な土地利用の転換を図るための検討を行う

<検討の進め方>



<スケジュール>

- 9月 環境建設常任委員協議会報告
- 10月 第3回懇談会
- 11月 都市計画審議会・各区自治協議会
- 12月 環境建設常任委員協議会報告  
市民意見募集（～1月）  
＜パブリックコメント＞
- 2月 環境建設常任委員協議会報告
- 3月 都市計画審議会

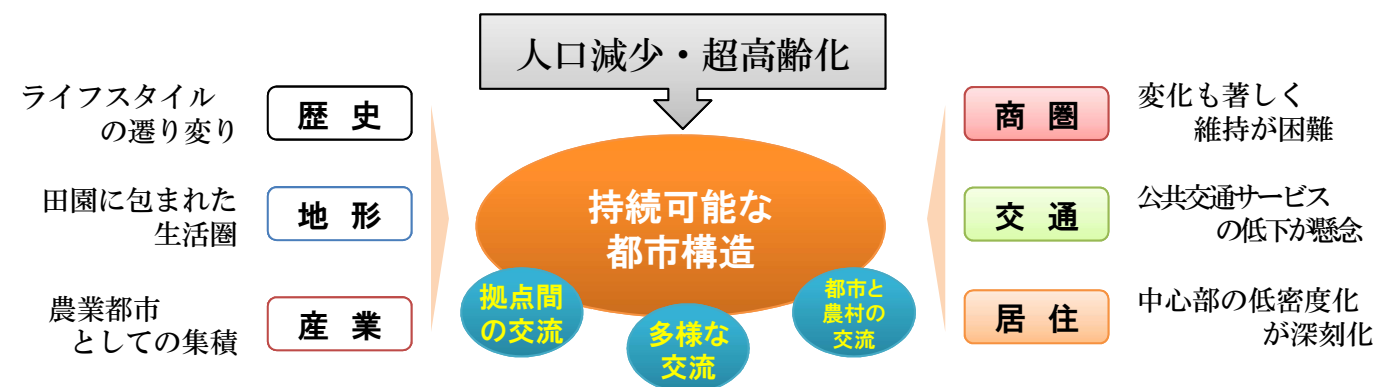
計画の策定項目

- 新潟市の現状と将来見通し
- まちづくりの方針
- 目指すべき都市の骨格構造
- 誘導区域等の設定
- 誘導施策
- 計画の目標
- 計画の評価

1 懇談会の開催状況

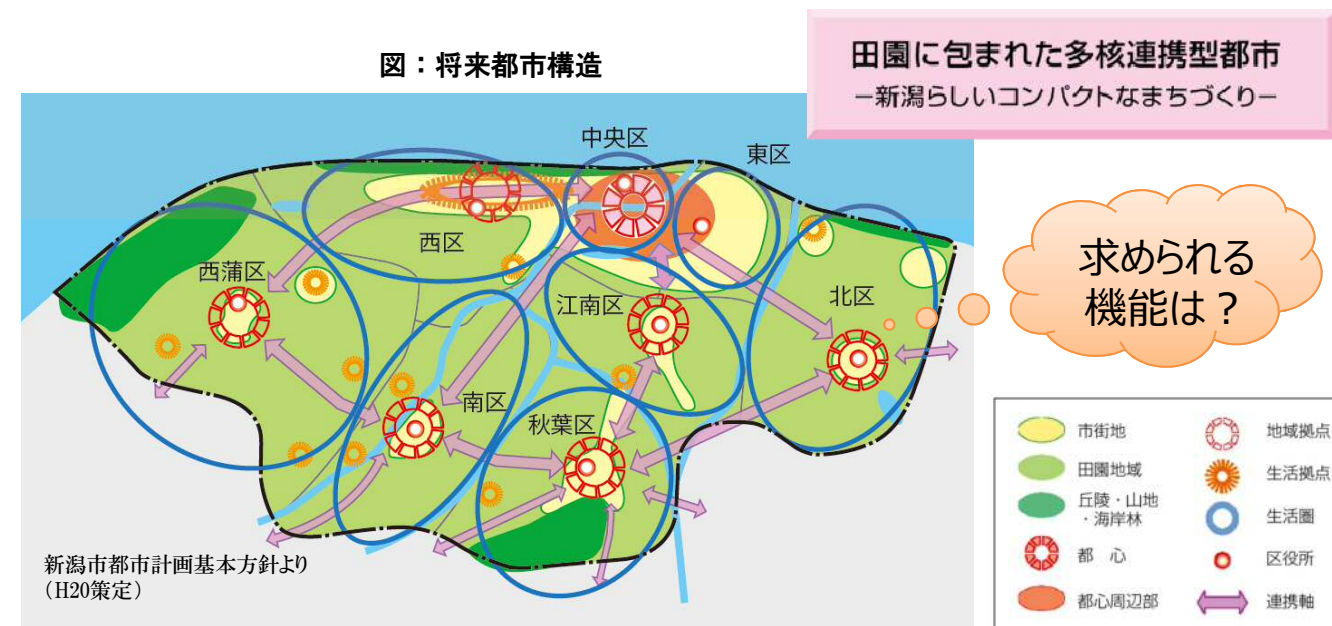
■ 第1回（8月10日）の話題 | 都市構造の現状と課題

○ 本市の変遷や都市構造の要素（商圏・交通・居住）について、過去から現状を踏まえ、将来どうあるべきかについて意見交換を行った。



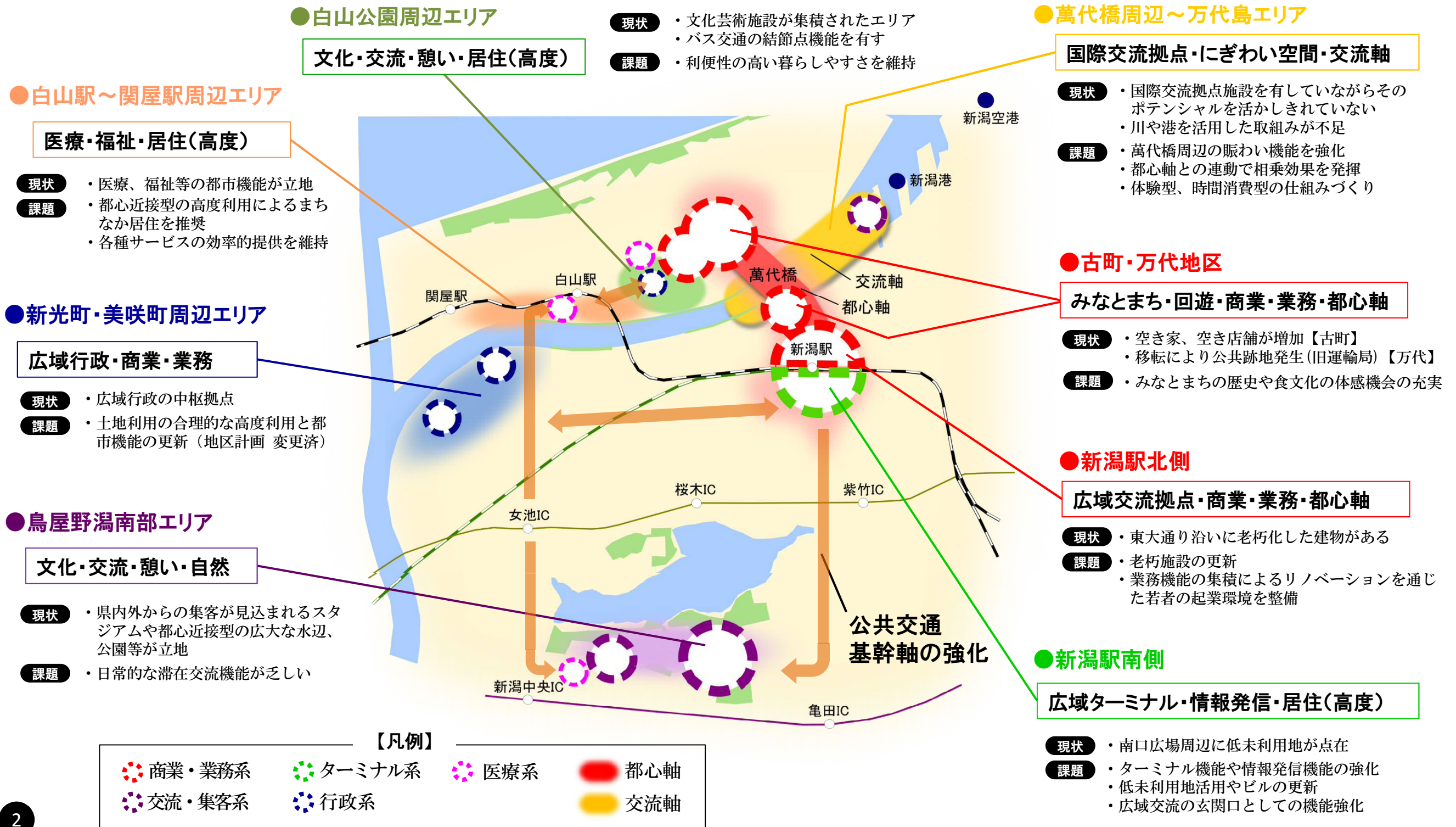
■ 第2回（9月2日）の話題 | 都心及び地域拠点に求められる機能

○ 前回会議の結果を受け、各拠点に求められる機能について意見交換を行った。



## 2 都心及びその周辺に求められる機能 <機能分担イメージ>

範囲	定義	求められる主な機能
新潟駅周辺地区、万代周辺地区、古町・白山周辺地区、鳥屋野潟南部地区を包含した区域	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 中枢的な業務・商業機能が集積する都市の象徴的な市街地</li> <li>* 様々な魅力・交流から新たな情報や文化が創造・発信される拠点</li> <li>* 高次都市機能が集積するエリア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 市全体を牽引する業務・経済活動の集積</li> <li>* 非日常的な都市型サービス・拠点性の向上</li> <li>* 新潟の情報発信拠点・来街者への宿泊 ほか</li> </ul>



### 3 各区の地域拠点に求められる機能

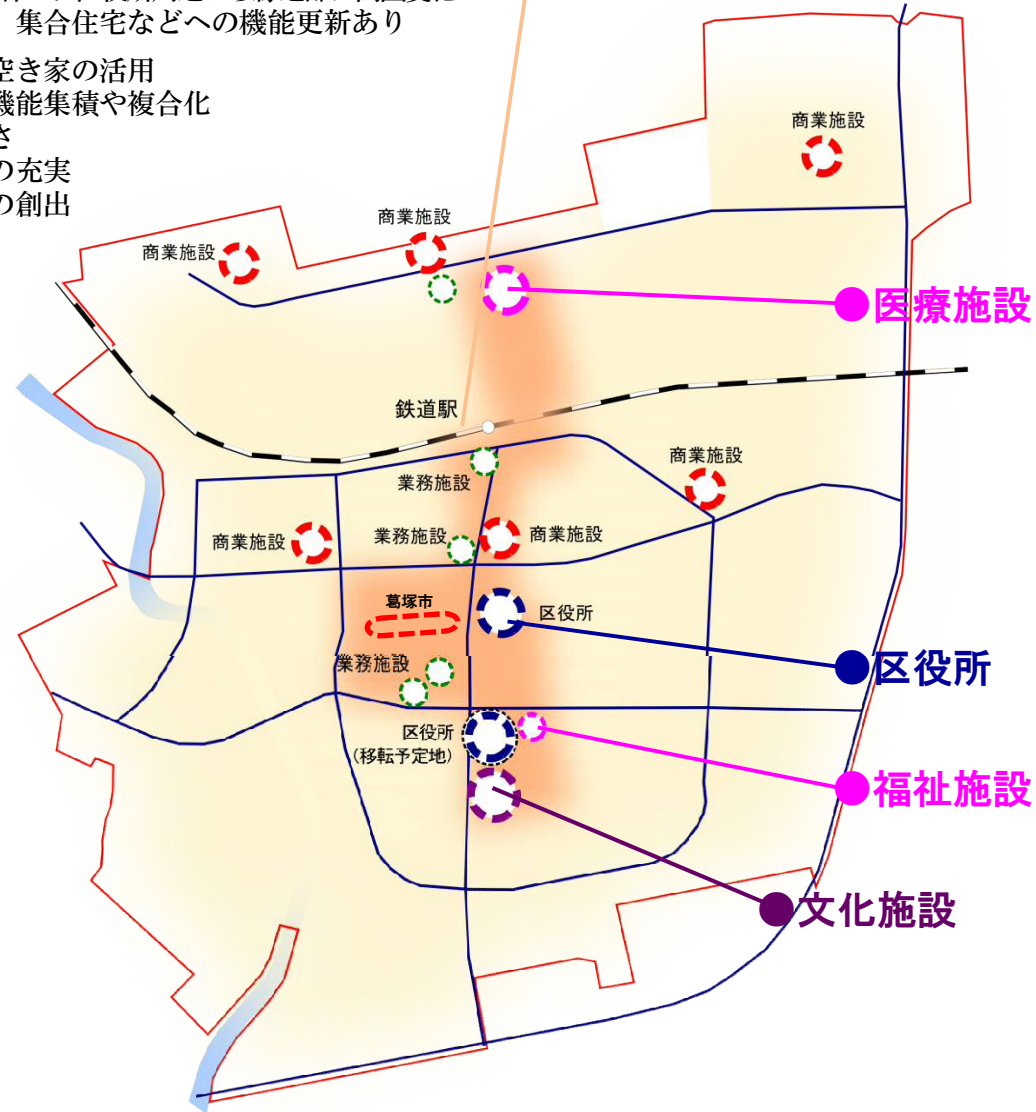
範囲	定義	求められる主な機能
都心周辺部を除く区域で、概ね区を区域とする生活圏の中心区域	<ul style="list-style-type: none"> <li>*それぞれの地域で育まれてきた歴史や個性の中心を担ってきた要衝</li> <li>*古くから地域の拠点としての商店街などが存在してきた地域の核</li> <li>*各区（生活圏）の中心であり、まちなかを形成しているエリア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*日常の生活を支える拠点</li> <li>*地域の個性や魅力を活かした交流を促進</li> <li>*歴史的な街並形成</li> <li>*歩いて暮らせるまち</li> </ul>

<機能分担イメージ（例：北区葛塚地区）>

#### ●地域拠点

居住、医療・福祉、商業、文化、行政

- 現状**
- ・葛塚市が開催
  - ・市街地拡大に伴い、区役所周辺から縁辺部に商圏変化
  - ・駅周辺では、集合住宅などへの機能更新あり
- 課題**
- ・空き店舗、空き家の活用
  - ・公共施設の機能集積や複合化
  - ・移動の快適さ
  - ・子育て環境の充実
  - ・地域内雇用の創出



#### 【凡例】

- 商業系
- 行政系
- 集客系
- 医療・福祉系
- 業務系
- まちなか

### ◆ 懇談会におけるこれまでの主な意見

#### ○都心のあり方

- \*拠点ごとに明確に色付けをして、促す施策を明確に打ち出すべき

#### ○都心軸の形成

- \*都心軸をしっかりと形成し、中心がどこにあるのかを明確にする必要がある
- \*都心軸の中でも優先度をつけるなどメリハリも必要

#### ○都心整備の方向性

- \*港や川を活かしたシンボリックなものがあつたらよい
- \*駅から古町まで歩く中で、色々な文化を味わいながら歩けるような仕掛けが必要

#### ○古町の活性化

- \*新潟駅から古町へ行くまでの楽しみを演出できる場所が必要
- \*歴史的なストーリー性を情報発信することで、新潟の良さがもっと見えてくるのでは
- \*みなとまちとしての歴史や花街文化の活用などが望ましい

#### ○産業・雇用

- \*空間としてコンパクトになることはよいが、産業として縮みっぱなしではいけない。拡大することも片方で考えることが重要。
- \*人口増加には、雇用の場所が大事

#### ○施策展開

- \*中途半端ではだめ。やるなら思い切ったことを大胆に施策として実行すべき。
- \*それぞれの区が独自性を出し、スピード感のある施策を展開すべき

#### ○新潟駅の機能強化

- \*駅南には、リサイクルの可能性を持った低未利用地がある
- \*新潟駅を、広域交流の玄関口として位置づけ、高度利用等により不足しているターミナル機能やそれを補完する周辺施設を検討すべき
- \*情報発信機能に工夫を凝らし、来街者へのアピールを強化
- \*駅周辺には、一定のオフィス需要があるがビルが老朽化している

#### ○空間等の活用

- \*既存のインフラや低未利用地などあるものを上手に活用することが重要
- \*まちの設計図だけ作っても、そこに人が活動しないと、まちは成立できない

#### ○信濃川の活用

- \*信濃川は本市の魅力の一つ
- \*萬代橋周辺に色々な人が交流できる空間を創出できないか

#### ○地域拠点の機能

- \*医療機関と高齢者をどう繋ぐかが重要で、移手段の確立がポイントとなる

#### ○子育て環境

- \*新潟市において、歩いて行ける地域の中に居場所を作ることが必ずしも適正ということにはならないのではないか
- \*子育て層を呼び込むには、子供が一定時間滞在できる空間づくりが必要